

E8aおよびE8 エミュレータソフトウェア ご使用上のお願い

オンチップデバッグエミュレータE8aおよびE8用エミュレータソフトウェアの 使用上の注意事項を連絡します。

- エミュレータのBUSY端子に接続するマイコン端子の処理に関わる注意事項

1. 該当製品

- (1) E8aエミュレータソフトウェア
V.1.00 Release 00 および V.1.00 Release 00A
- (2) E8エミュレータソフトウェア
V.2.09 Release 01 ~ V.2.10 Release 00

2. 内容

E8aおよびE8の接続コネクタのBUSY(9番)ピンと接続するマイコンの端子をユーザシステム上でプルダウン処理しているか、または端子処理していない場合、エミュレータソフトウェアが起動できないことがあります。

3. 発生条件

- (1) 740ファミリのデバッグ時、以下の条件をすべて満たす場合、デバッガが起動できません。
 - ・ 740 E8a エミュレータデバッガを使用している。
 - ・ 38D5、3803L、または3804L グループのマイコンを使用している。
 - ・ ユーザシステム上で、BUSYピンと接続するマイコン端子をプルダウン処理しているか、または端子処理していない。BUSYピンと接続するマイコンのプログラマブル入出力ポートは以下のとおりです。
 - 38D5グループ : P43
 - 3803Lおよび3804Lグループ: P47

(2) M16Cファミリのデバッグ時、以下の条件をすべて満たす場合、エミュレータデバuggが起動できません。

- ・ 次のいずれかのエミュレータデバuggを使用している。
 - M16C E8a エミュレータデバugg
 - M32C E8a エミュレータデバugg
 - M16C E8 エミュレータデバugg
 - M32C E8 エミュレータデバugg
- ・ M16C/60シリーズ、M16C/30シリーズ、M16C/Tinyシリーズ、またはM32C/80シリーズを使用している。
- ・ ユーザシステム上で、BUSYピンと接続するマイコン端子(プログラマブル入出力ポート: P64)をプルダウン処理している。

4. 回避策

(1) 740ファミリのデバッグ時

ユーザシステム上で、BUSYピンと接続するマイコン端子をプルアップ処理してください。

(2) M16Cファミリのデバッグ時

ユーザシステム上で、BUSYピンと接続するマイコン端子をプルアップ処理するか、端子処理をしないでください。

5. 恒久対策

本内容は、次期バージョンで改修する予定です。

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。